

# 2024年3月期第2四半期 決算説明会

---

2023年11月20日  
**TDCソフト株式会社**



- 1 2024年3月期第2四半期 決算概況(連結)
- 2 2024年3月期第2四半期 主要施策の状況
- 3 2024年3月期 見通しについて

代表取締役社長 小林 裕嘉

- 4 2024年3月期第2四半期 決算内容  
管理本部担当取締役執行役員 大垣 剛

## 2024年3月期第2四半期の実績

- 全ての事業分野が堅調に推移し、売上高は前年同期比12.3%増の18,856百万円を確保
- 人材確保・育成投資や本社移転等を伴う『Smart Work構想』に向けた投資など将来の事業拡大に向けた投資を計画どおりに推進
- 計画を上回る増収効果により営業利益は前年同期比0.4%増の1,858百万円を確保

## トピックス

- **次世代型SI事業の状況**  
売上高は前年同期比9.4%増の43.0億円と順調に拡大
- **SIモデル変革の状況**  
生産性向上とトラブルプロジェクト撲滅に向け、新社内システム「PROJECT IQ」の運用開始
- **本社移転**  
10月10日(火)より本社を九段会館テラスへと移転し、営業開始



# 2024年3月期第2四半期 決算概況(連結)

(単位:百万円)	2024年3月期 第2四半期	利益率	前年同期比	2023年3月期 第2四半期
売上高	18,856	-	+12.3%	16,793
売上総利益	4,041	21.4%	+10.0%	3,674
営業利益	1,858	9.9%	+0.4%	1,851
経常利益	1,930	10.2%	+0.4%	1,922
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,310	7.0%	+0.7%	1,301

### 【ハイライト】

- 各事業分野は堅調に推移し売上高は計画を上回り増収を達成
- 将来の事業拡大に向けた投資を積極的に推進したことによるコストが拡大するも、増収効果により営業利益が計画を上回り増益を確保

## ITコンサルティング&サービス分野



お客様のDX推進に向けたIT戦略・システム化構想の立案、技術コンサルティング、教育サービス、自社クラウドアプリ、BI/DWH、ERP、CRMなどのソリューションサービスを提供

**エンタープライズ向けのSaaSソリューション案件が  
堅調に推移**

## 金融ITソリューション分野



金融業向けにシステム化構想・設計・開発・保守などの統合的なITソリューションを提供

**銀行系のシステム開発案件等が好調に推移**

## 公共法人ITソリューション分野



流通業、製造業、サービス業、公共向けにシステム化構想・設計・開発・保守などの統合的なITソリューションを提供

**官公庁や運輸業向けの開発案件等が堅調に推移**

## プラットフォームソリューション分野



ITインフラの環境設計、構築、運用支援、ネットワーク製品開発、ネットワークインテグレーション等を提供

**銀行業向けのインフラ構築案件が堅調に推移**



# 2024年3月期第2四半期 主要施策の状況

# Shift to the Smart SI Plus

既存のSI事業領域を軸に新たな領域へ事業を拡大  
新たなビジネスモデルに必要なケイパビリティを獲得し、  
新たな次世代型SI企業を目指す

Plus!  
事業領域の拡大

社会や顧客の潜在ニーズを捉え、最新の要素技術等を活用した付加価値の高いインテグレーションサービスの拡大

高付加価値  
SIサービスの追求

主要戦略

SIモデル変革  
の推進

高生産性と高品質を両立するSIプロセスの整備などをイノベーション的アプローチで実現

## 次世代型SI事業の全体概況について

次世代型SI事業は  
アジャイル開発やクラウド関連が牽引し  
直近5年間で売上高5倍以上に拡大

## 次世代型SI事業

顧客の潜在ニーズを捉え、アジャイル、セキュリティ等の最新の要素技術等を活用し、高付加価値サービスの提供と時間や手間などを含めたユーザコストの低減を両立したインテグレーションサービス

次世代型SI事業の売上高推移



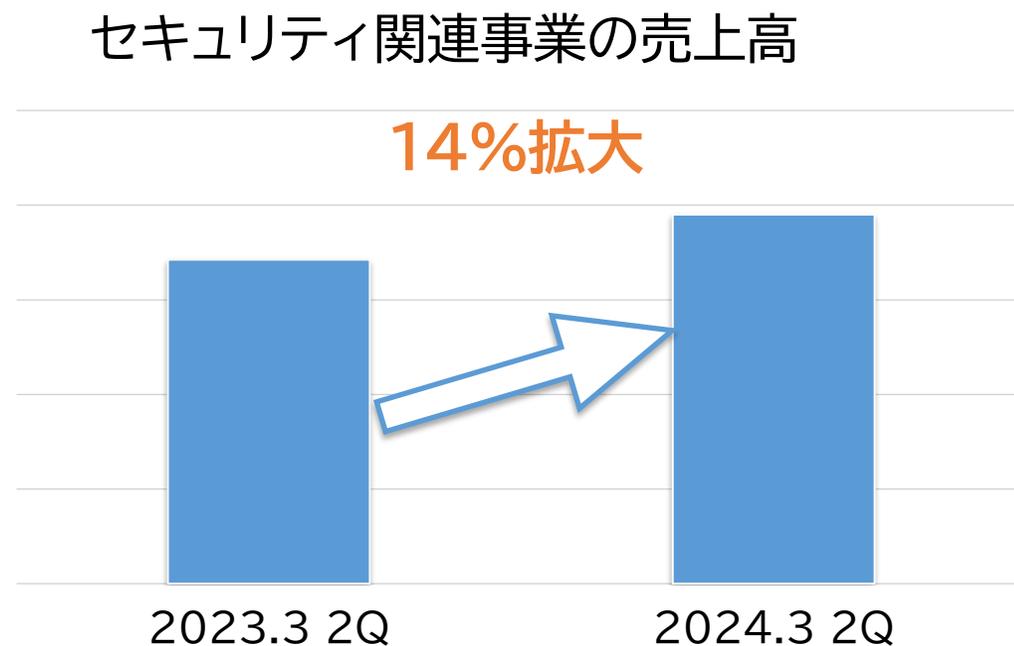
## アジャイル開発事業

継続的な技術者の確保、育成を推進し、  
売上拡大を維持



## セキュリティ関連事業

市場も拡大傾向にあり、  
通期にかけて前期より拡大予定





## 社内の新システム「PROJECT IQ(プロジェクトアイキュー)」を開発

### ● 生産性の向上とトラブルプロジェクトの撲滅を推進

#### ■PJパフォーマンス評価機能

担当者の経験等に依存した人的観点でのPJレビューや受注判定を、技術的観点で定量的にパフォーマンスを可視化することで画一的な品質担保を可能とする。

#### ■要員スキルアセスメント登録・検索機能

PJ要員の基礎情報であるスキルアセスメント情報を集約しているため、スキルキーワード、評価などの検索条件で全社横断の情報検索が可能。



既存のSI事業領域を軸に新たなビジネスモデルに必要なケイパビリティを獲得し、新たな領域へ事業を拡大

### Target事業①

#### コンサルティング事業

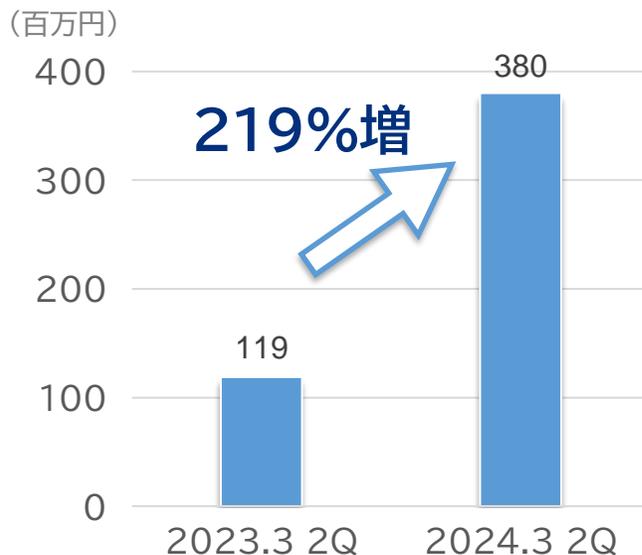
DX/ITコンサル、ソリューション導入コンサルや教育サービス



### Target事業②

#### サービス販売事業

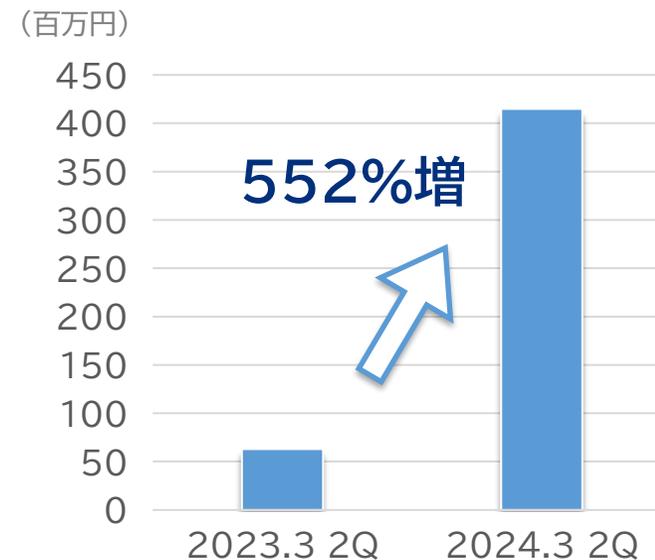
ユーザーニーズやシーズを捉えた製品やサービスの販売



### Target事業③

#### SI事業コモディティ領域

維持/保守領域等のSI事業におけるマネージドサービスやアウトソーシングサービス



前年同期比で約213百万円の投資額を拡大し、将来に向けた積極的な投資を推進

## 『投資分野①』技術投資の拡大

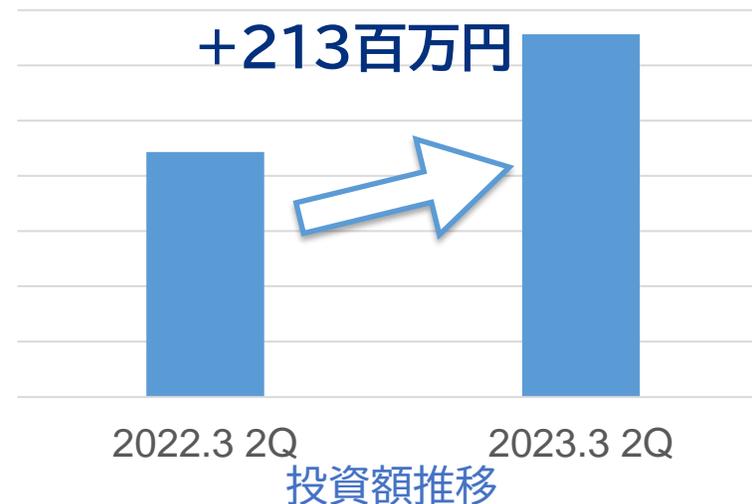
新規事業や高付加価値分野のさらなる拡大を狙い要素技術への投資を拡大

## 『投資分野②』人材への投資

前期よりさらに新卒採用数を確保(120名→160名)するなど積極的な人材確保施策を推進。また、早期戦力化へ向けた教育投資も積極的に推進

## 『投資分野③』「Smart Work構想」への投資

本社機能に移転するとともに、開発拠点『Techno Growth Center Shinjuku』を新たに整備拠点への投資を加速させ、高生産性と高品質の両立を実現し、更なる成長を目指す

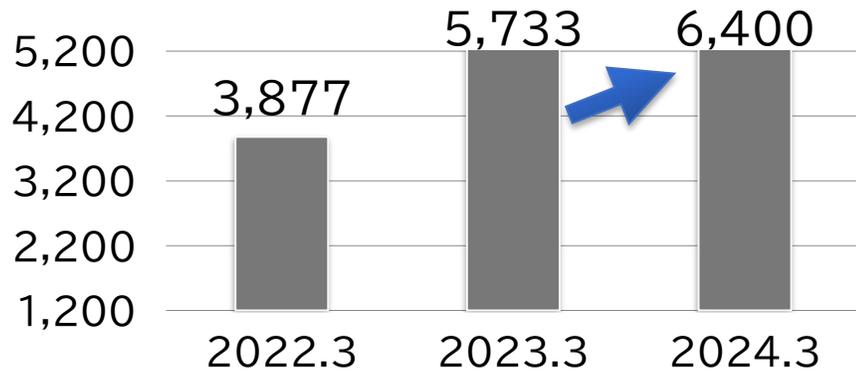




2024年3月期 見通しについて

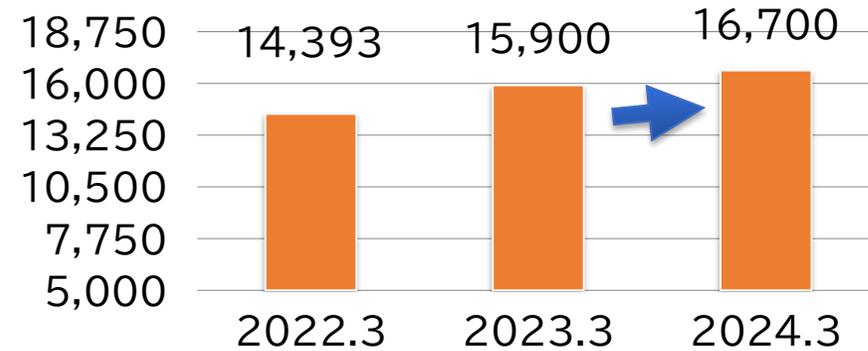
## ITコンサルティング&amp;サービス分野

前期比+11.6%



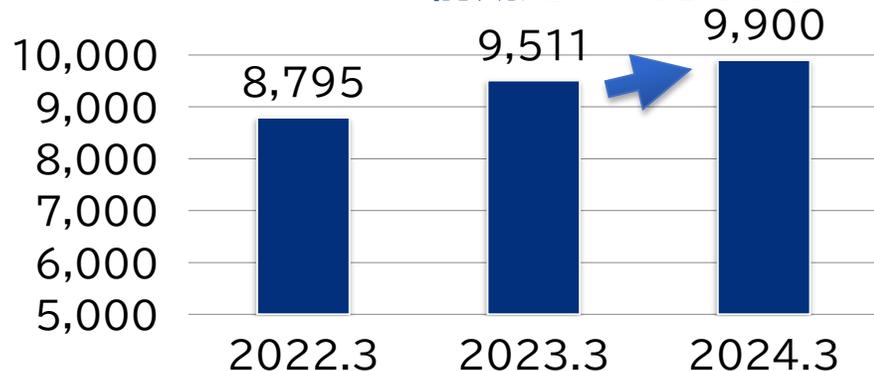
## 金融ITソリューション分野

前期比+5.0%



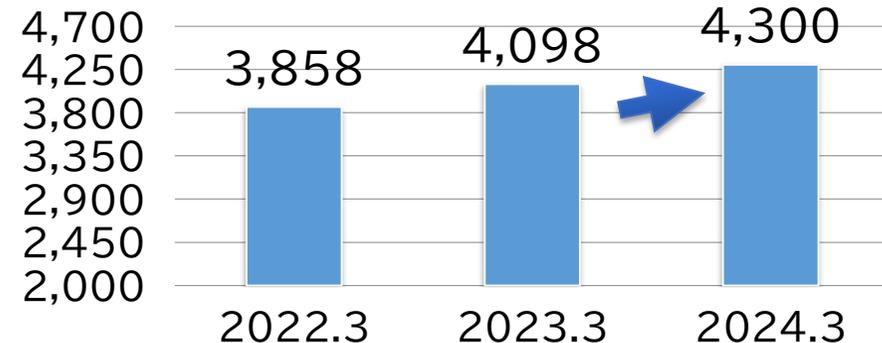
## 公共法人ITソリューション分野

前期比+4.1%



## プラットフォームソリューション分野

前期比+4.9%



## 業績予想および配当予想

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	EPS (円)	配当予想 (円)
通期 (対前期)	37,300 (+5.8%)	3,550 (+2.6%)	3,750 (+1.0%)	2,510 (+0.8%)	105.31	期末 40.00 合計 40.00

- 事業環境は引き続き堅調に推移する見込みであり、売上高は堅調に拡大する見込み
- 引き続き積極的な投資施策を推進。特に本社の移転コストは当期の特別要因として見込むも収益拡大効果から投資コストは通期で吸収し増収増益を予想
- 配当予想は、普通配当を10円増の一株あたり40円を実施させていただく予定



# 2024年3月期第2四半期 決算内容

- 財務諸表
- 売上高分析
- 受注高・受注残高
- 営業利益分析

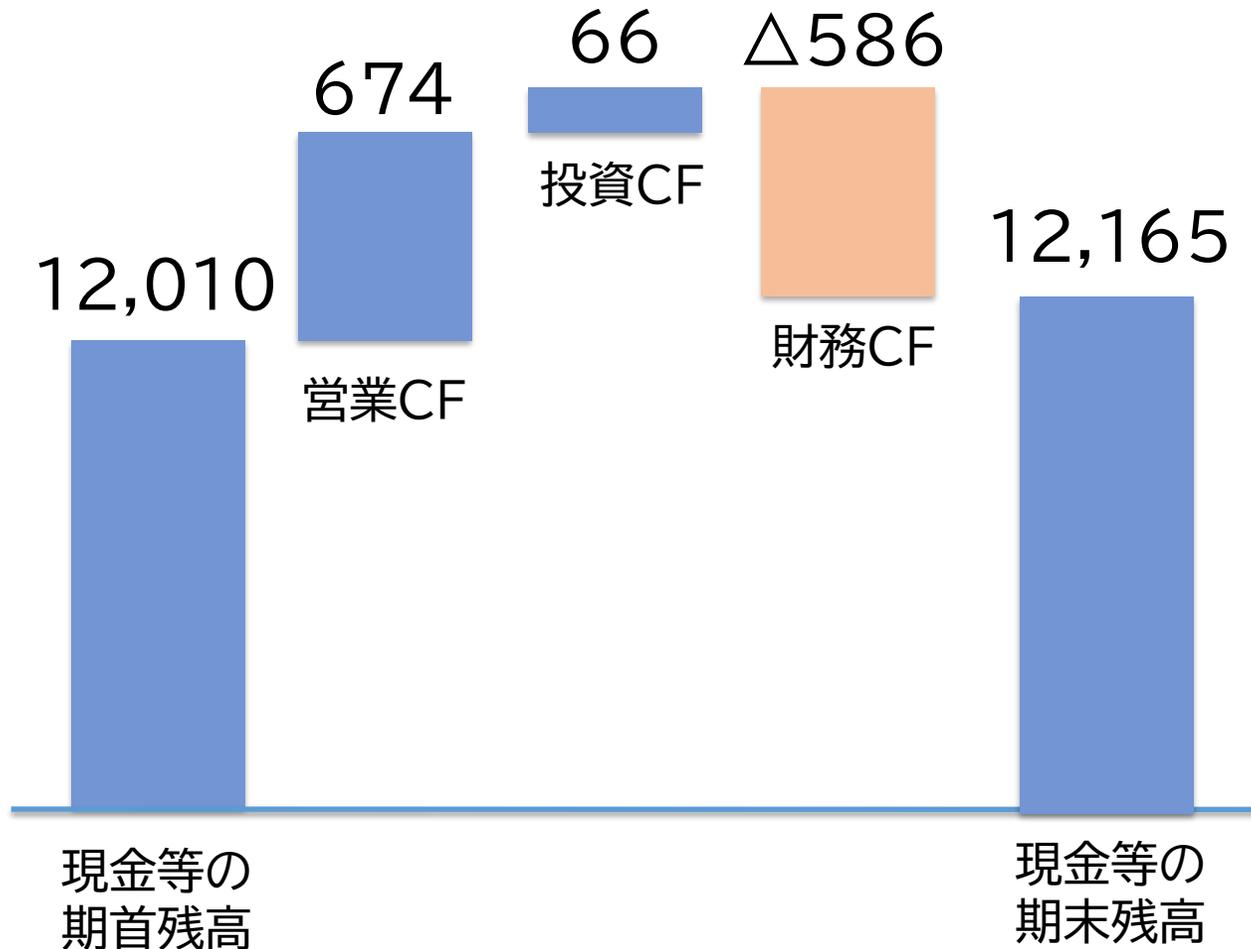
## 損益計算書

(単位:百万円)	2024年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減率
売上高	18,856	16,793	+12.3%
労務費	6,359	5,935	+7.1%
外注費	8,084	6,883	+17.5%
その他経費	502	442	+13.6%
仕掛増減高	130	142	-7.9%
売上原価	14,815	13,119	+12.9%
売上総利益	4,041	3,674	+10.0%
販売費及び一般管理費	2,182	1,823	+19.7%
営業利益	1,858	1,851	+0.4%
営業外収支	71	70	+1.5%
経常利益	1,930	1,922	+0.4%
税引前当期利益	1,930	1,922	+0.4%
四半期純利益	1,310	1,301	+0.7%
EPS	52.19	51.84	+0.7%

## 貸借対照表

(単位:百万円)	2024年3月期 第2四半期末	2023年3月 期末	増減率
資産合計	23,206	22,771	+1.9%
流動資産	19,094	18,827	+1.4%
固定資産	4,112	3,704	+4.3%
負債合計	5,950	5,817	△6.5%
流動負債	5,644	5,540	△6.6%
固定負債	305	276	△3.3%
純資産合計	17,203	15,255	+4.8%
負債純資産合計	23,153	21,072	+1.7%
自己資本比率	74.1%	72.1%	-
1株当たり純資産	685.02	653.43	+4.8%

# キャッシュフロー計算書

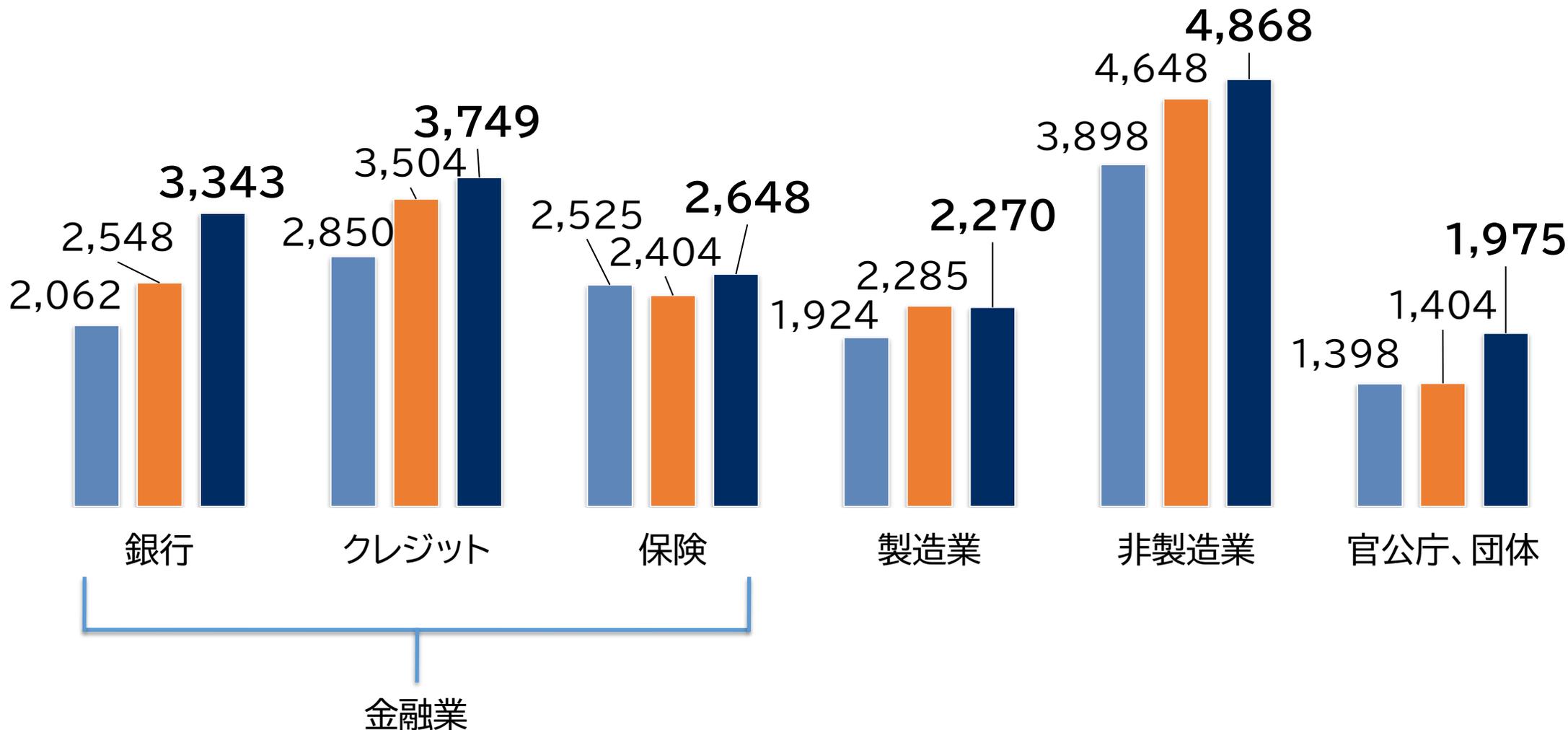


現金等の期首残高	12,010
税引前当期純利益	1,930
棚卸資産	△130
未払費用	△364
その他	△22
法人税等	△740
<b>営業CF</b>	<b>674</b>
有形固定資産の取得	△62
投資有価証券の売却による収入	97
利息及び配当金の受取額	37
その他	△6
<b>投資CF</b>	<b>66</b>
短期借入金の純増減額	147
配当金の支払額	△726
その他	△7
<b>財務CF</b>	<b>△586</b>
現金等の期末残高	12,165

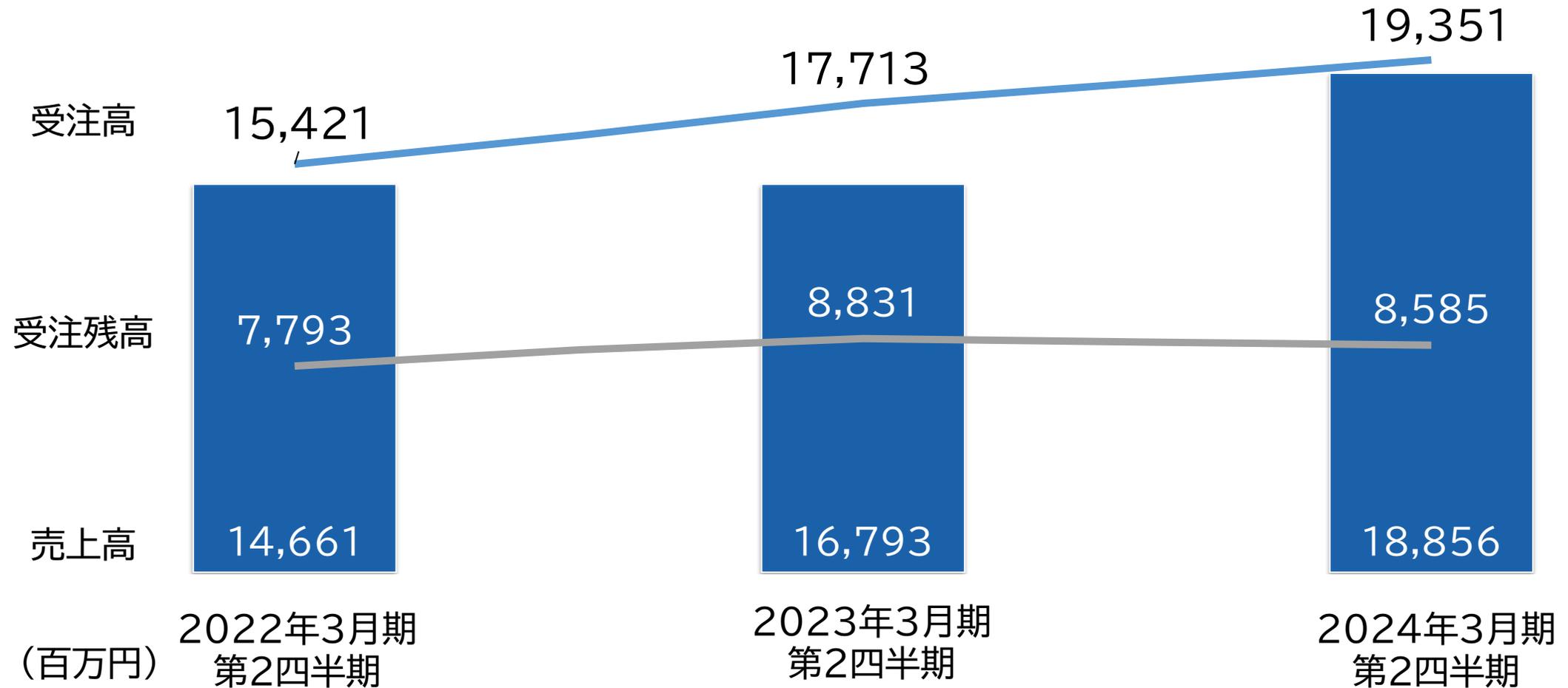
# 4 顧客業種別売上高概況



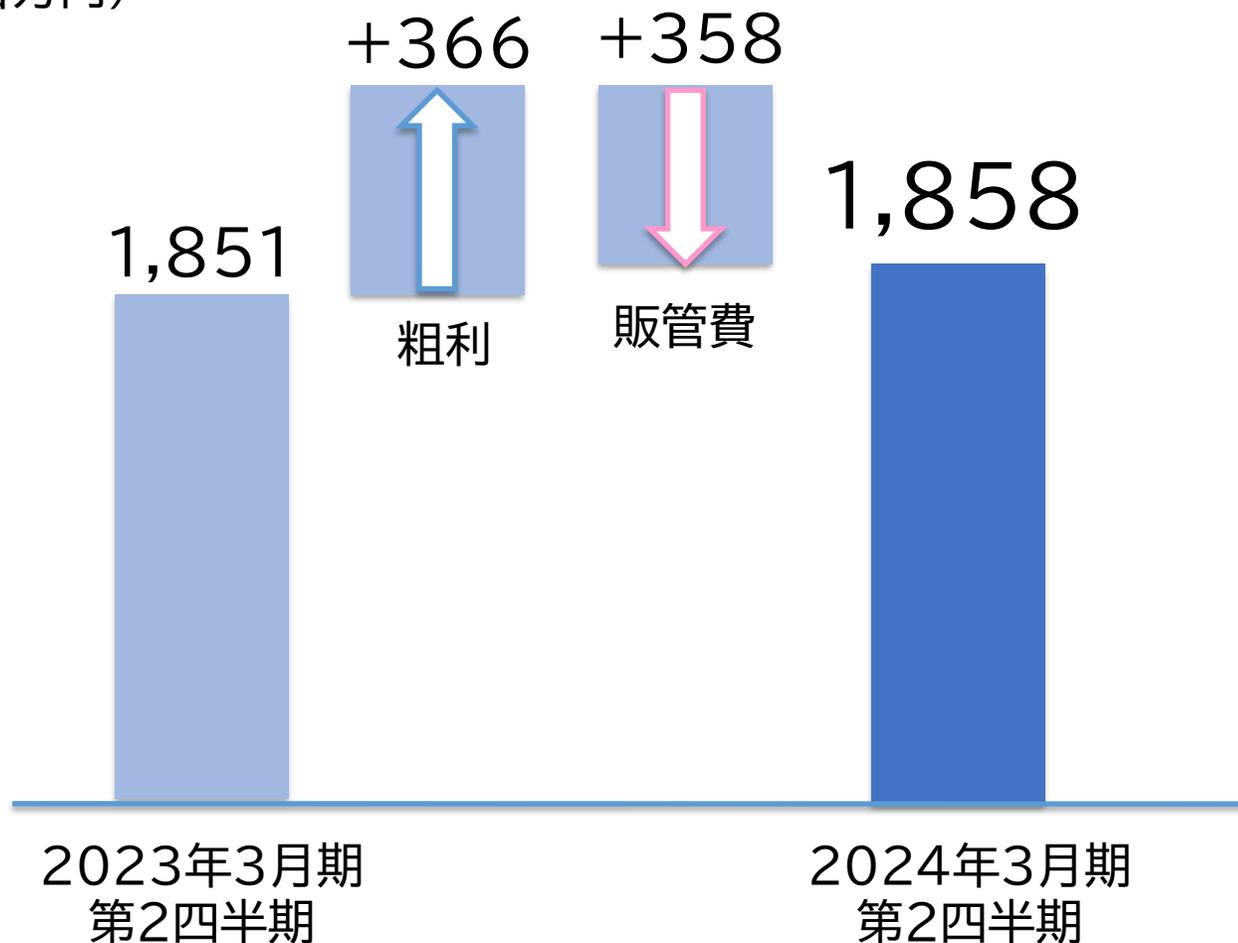
(百万円) ■ 2022年3月期第2四半期 ■ 2023年3月期第2四半期 ■ 2024年3月期第2四半期



## 4 受注高・受注残高状況



(百万円)

**<粗利益>**

+売上高の増加による利益向上

**<販売管理費>**

- +新卒採用者数の拡大
- +次世代型SI事業拡大に向けた新技術獲得
- +「Smart Work構想」の一環とした本社移転



※本資料についてのご注意:

本資料に記載されているTDCソフトグループの将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。